林のようすと黄色い花の関係

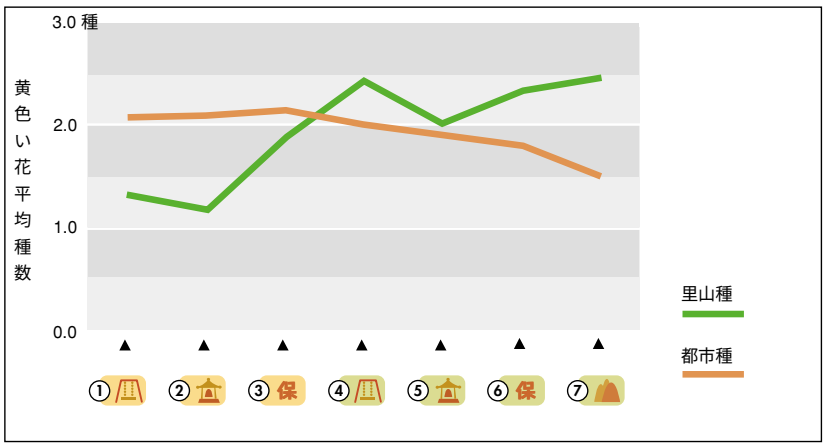
黄色い花の種数を林のタイプ別にまとめてみると、都市種では市街地・住宅地から農村の山地林に行くに従ってわずかですが種数が減少していました。一方、里山種では、逆に増加傾向がみられました。屋敷林・社寺林では、里山種がやや少ない結果になりましたが、これは林の置かれた環境がやや暗い場所に多いためではないかと思われます。

林の面積としては、里山種では明らかに面積が広くなるほど多くの種が出現していました。一方、都市種ではある程度以上広い林ではかえって種数が減少しました。

また、地面の土の固さとの関係をみると、都市種ではほとんど変化がなかったのに対して、里山種では明らかに土が固いほど種数が減少していました。

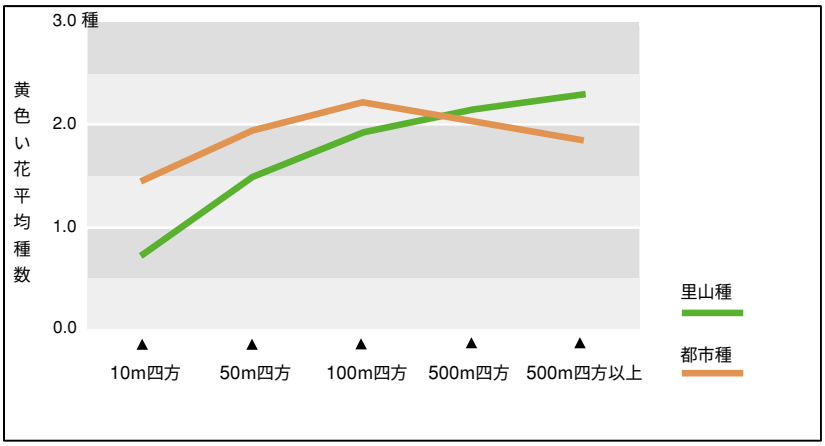
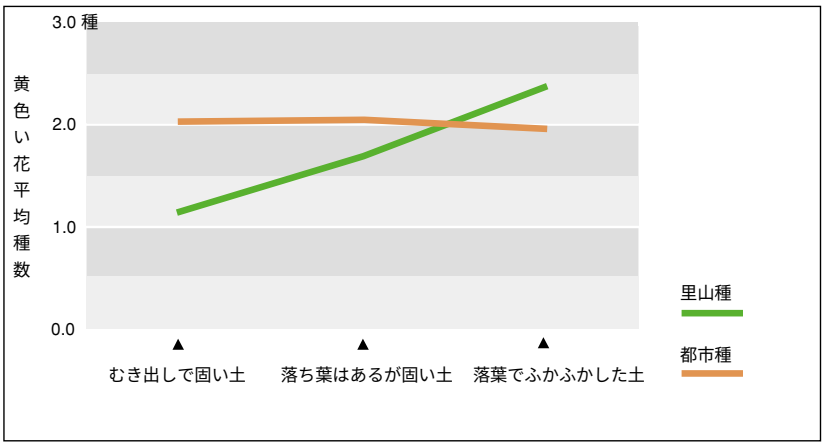
こうした結果から、身近な林では、より面積が広く、落ち葉のつもったふかふかしたやわらかい土があるような状態の方が、里山に生育する植物が多くなると考えられます。

林のタイプ別にみた黄色い花の状況



① 市街地・住宅地の公園林
② 市街地・住宅地の屋敷林・社寺林
③ 保 市街地・住宅地の保存緑地・斜面林
④ 農村の公園林
⑤ 農村の屋敷林・社寺林
⑥ 保 農村の保存緑地・斜面林
⑦ 農村の山地林

林の面積別にみた黄色い花の状況



林の地面のようす別にみた黄色い花の状況